

3.11 から 7 年

復興教育と心のケアと地域づくりへの挑戦から学ぶ

『震災と向き合う子どもたち』（徳水博志 2018. 2 新日本出版社）を読む

2018年6月9日（土）

午後1時半～5時

エデュカス東京 地下会議室

参加費 500 円

- 私はこう読んだ
〈3人からの問題提起〉
- 徳水博志さんからのお話
- 意見交換と交流

3.11 津波被災で中心街が壊滅した石巻・雄勝地域！
そこでいち早く地域復興に携わりながら、雄勝小学校で復興教育の実践を行って来た7年間の記録です。

そこでは、地域と学校との関係や、目指す子ども像などが追求されてきました。

人間復興と地域復興を重ね合わせながら、子どもたち、地域住民とともに歩んできました。

この記録から、私たちは何を学ぶのでしょうか。

実践にあたってきた徳水さんも交えて、考え合っていきたいと思います。

どなたでも広くご参加ください。

連絡先 民研事務所 03-3261-1931
office@min-ken.org



共同制作した「希望の船」

呼びかけ人

民主教育研究所代表
梅原利夫

教育科学研究会委員長
佐貫 浩

日本生活教育連盟委員長
行田稔彦